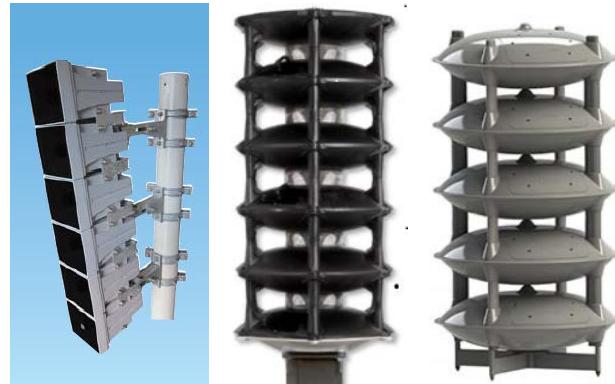


防災行政無線の新設・改修される自治体の皆様へ

# 次世代型スピーカー

(High Power Speaker Array)



## 従来型防災行政無線スピーカーの課題



従来型ホーンスピーカー

- ・子局同士の音が重なって聞き取りにくい
- ・スピーカー直下の音がうるさい
- ・子局が多いので保守費用がかさむ
- ・スピーカーが向いていない方向の音量が小さい

## ♪ 次世代型スピーカー(HPSA)とは♪

スピーカーの構造や特性を改良し、高い出力レベルにより、従来のスピーカーに比べより遠くへ、より明瞭に音を届けるもので、代表的なものに

- ・ラインアレイ指向性(※)スピーカー
- ・ラインアレイ全方位スピーカー

があります（※水平方向の指向性）。

## ♪ ラインアレイ指向性スピーカー

### ◆広い指向性

- ◆直下の音量感を抑え、耳障りになりにくい
- ◆地形に合わせて最適の設定がしやすい

ラインアレイ指向性スピーカーは、複数の指向性スピーカーを縦一列に並べた方式で、従来型に比べて広い指向性を持ち、より幅広く音声を届けます。

そして構造と指向特性から、地形に合わせた到達距離を容易に設定・変更できます。



また、高い出力パワーも両立させているため、優れた到達距離を持ち、遠くまで聞き取れる音が届けます。従来型が垂直方向へ球面状に音が広がるのに対し、この型は垂直方向に強い指向性を持ち、直下での不快な音量感を抑え、耳障りになりにくいという特徴があります。

【従来型 ホーンスピーカー】音の広がり方イメージ



【ラインアレイ指向性スピーカー】音の広がり方イメージ



## 近畿總合通信局 総務通信部陸上第二課

540-8795 大阪市中央区大手前 1-5-44

大阪合同庁舎一号館 06-6942-8557

Kinki-rikujou2@soumu.go.jp

二〇一八年七月七日 作成(協力:大手前)

\* 一社・代理店 (五十音順)

※ 各社は一社の開示等請求権 HP を正確に記載

### Q1 未来型LTE-5Gを導入する?

A 1 人口密度が多い高層ビルや、建物構造、設置場所などから、既存の施設を削減するための構成要素となる。

A 2 人口-約1W (以下) 数はまだ実現されていませんが、一方で、データ収集作業が簡単化されると、各社とも積極的に導入する傾向があります。

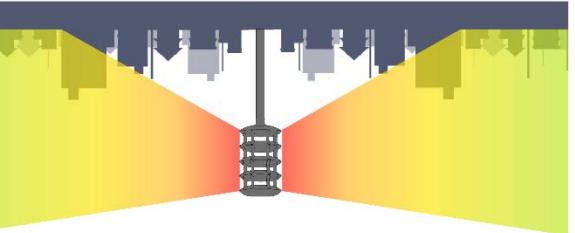
A 3 設置位置を変更する際に考慮すべき要素を5つある。  
A 4 一般的に未来型LTE-5Gは世界で初めて実用化されたのが、中国です。これは、人口密度が高く、機器の設置場所が限られるため、既存の電線や建物の構造を考慮して設計されています。

A 5 基本的には無線機器の接続機能が可能ですが、しかし、接続状況によっては、接続機能が不可能になります。

A 6 地形、建物などの遮蔽物、雨、障害物などの影響で、信号が弱くなることがあります。事前に測定しておき、それを考慮して設備を設置すれば、接続機能が維持される可能性があります。

### Q6 未来型LTE-5Gを導入する際の留意点は?

A 7 未来型LTE-5Gを導入する際には、以下の点に注意が必要です。  
A 8 信号が他の機器や建物に干渉する可能性があります。特に、既存の電線や建物の構造を考慮して設計する必要があります。

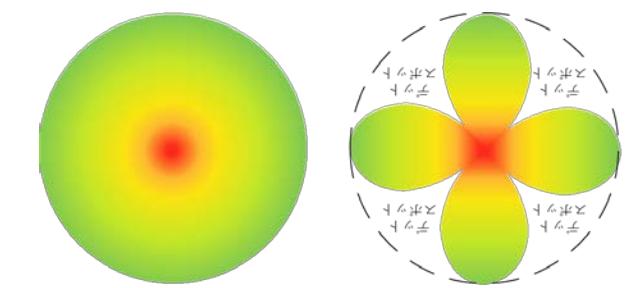


信号配分がかかるます。

複数方向からの強度を考慮するため、複数方向への

複数方向への強度を考慮するため、複数方向への

将来型LTE-5Gを導入する際の留意点は?



複数方向への強度を考慮するため、複数方向への

複数方向への強度を考慮するため、複数方向への